

令和3年度 京都府立向陽高等学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（計画段階・実施段階）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>○家庭や地域社会から信頼され、期待される安全・安心で魅力ある学校づくりを推進する。</p> <p>○一人一人の生徒の個性と能力を最大限に伸ばし、将来の夢や可能性を広げる確かな学力をつける。</p> <p>○知徳体美のバランスのとれた生徒を育成し、すべての生徒がよりよい社会の構築に貢献できる力をつける。</p>	<p>○1年次で家庭での学習習慣を確立して基礎学力を高めると同時に、探究活動、ICT、図書館の活用等を通じて主体的に学ぶ姿勢を育てることが肝要である。</p> <p>○身だしなみや挨拶等概ね良好な状態を維持できたが、遅刻を繰り返す生徒への指導を含め、生徒自らが考えて行動できるようにすることが求められる。SNSの利用方法等、情報化社会に対応した規範意識もさらに高める必要がある。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、地域や小学校と連携したボランティア活動を中止せざるを得ない状況であったが、コロナ禍の中でも可能な支援活動を工夫し、自己有用感を高めることが必要である。</p> <p>○担任・教科担当・部活動顧問が相互に協力し、部活動を通して、より一層豊かな人格形成を行うことの継続が求められる。</p> <p>○主体的に進路選択ができるよう勤労観・職業観を育てるキャリア教育を工夫して実施した。大学入学共通テストを含め、大学入試改革等に対応した的確な進路説明会や面談の実施を継続して行う。</p>	<p>○学習指導要領の趣旨に沿って授業改善に努め、わかる授業、伸ばす授業を追究することにより、生徒一人ひとりの学習意欲を喚起し、確かな学力を育む。</p> <p>○挨拶の励行、遅刻の防止、正しい身だしなみなど基本的生活習慣の徹底を図るとともに、自ら考えて行動する姿勢や高い規範意識を育む。</p> <p>○積極的な地域連携、校種間連携を進めるとともに、部活動やボランティア活動、読書活動等を推進し、積極的に挑戦する姿勢や自己有用感、社会参画意識を育む。</p> <p>○上記の各項目を推進するため、各分掌・教科の連携を図り、全教職員が一体となって効果的かつ組織的な教育活動を実践し、積極的に教育活動の公開や広報を行う。</p>

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
学習指導	<p>教員がICT機器を活用した授業を実践しやすい環境づくりを行う。</p> <p>本校生徒につけたい力について全教職員で共通認識を持って教育活動に取り組み、生徒の力を伸ばす。</p>	<p>ICT機器を授業に活用しやすいように整備し、「ICT機器を授業に活用している」教員の割合を50%以上にする。</p> <p>教職員研修などを通じて、向陽高校生につけたい力について教員間で共有し、「力がついた」と感じる生徒の割合を70%以上にする。</p>		
生徒指導	<p>問題行動の未然防止とともに、基本的生活習慣の確立や生活態度の育成を図る。</p> <p>自主的・主体的に行動し、社会・地域貢献をする中で、豊かな感性を持った生徒を育成する。</p>	<p>毎日の、交差点・校門指導や、教職員一斉登校指導等を活用すると共に、教職員全体で挨拶やベル着、校内巡回等を行い、問題行動等の未然防止を行う。遅刻指導を、累積回数で指導する方法に改変する。SHR以後の遅刻者をもれなく指導すると共に、指導の過程で自ら規律ある生活をするための方策を考えさせるなどし、生徒主体で基本的生活習慣の確立を目指す。交通ルールの遵守と薬物乱用防止等の非行防止教育について、警察・教育委員会等関係機関との連携を強める。</p> <p>部活動加入率を全学年で80%以上を目指すとともに、定期考査終了ごとの部活動集会を通じて、学校を運営するリーダー的人材としての自覚を持たせる。新入生歓迎会、向陽祭、昼パフォ等において生徒会が主体となって運営する行事において、生徒の企画力や運営力を育成する。ボランティア活動や地域貢献の機会を増やし、様々な人とのコミュニケーション能力を育成する。ボランティア活動に参加したことのない生徒へ積極的に働きかけ、全学年での実施率45%以上を目指す。</p>		
進路指導	<p>基礎学力及び自己表現力を鍛えることをとおして、希望進路の実現を図る。</p>	<p>校内実施の外部学力テスト（模試）を定期的に分析し、生徒の学力の概要を知るとともに、授業改善に役立てる。また、総合型選抜（AO）や学校推薦型選抜で進路を切り拓くことのできる生徒を育成するため、「面接」「志望理由」「小論文」「口頭試問」等についても、進路学習や補習、個別指導をとおして指導する。</p>		
人権教育	<p>自己と他者を尊重する態度を培う。</p>	<p>講演や視聴覚教材を用いて様々な人権問題を扱い、正確な知識を獲得し、自らの行動指針を考えさせる。各教科等の教育活動の中で人権意識を涵養し、望ましい人間関係を形成する。</p>		
環境教育	<p>環境教育の充実と学習環境の整備に努める。</p>	<p>日常の清掃指導を徹底するとともに、定期考査ごとに教室美化点検や広報活動を行い、生徒自らが学習環境を整える態度を養う。</p>		
健康・安全	<p>生徒自らが健康の保持増進ができるよう支援を行い、健康教育を推進する。</p>	<p>学校生活に課題を抱える生徒を早期に発見できるよう、全教職員から「気になる生徒」の情報を得られる体制を整え、個別の支援を行う。</p>		
学校図書館	<p>図書館で可能な全ての教育活動を保障する態勢を整備し、読書に親しむことで自ら考え行動する生徒を育てる。</p>	<p>視聴覚機器、情報機器、図書の購入等により生徒や教職員に活用されるよう図書館を充実させる。また「読書の時間」「一斉読書」等の取組に向けて教科や分掌と連携し提案していく。</p> <p>教職員・生徒に向けた広報活動、活発な図書委員会活動や研修等を行い、利用者目線に立った読書活動を推進していくことで、自ら考え行動する生徒を育てる。</p>		
危機管理	<p>安心・安全な学習環境の整備</p>	<p>生徒・教職員が安心安全に学校生活を送れるよう、点検項目を定めた上で月1回の定期点検を実施するとともに、各分掌と情報の共有や連携を図ることにより、新型コロナウイルス感染症対策の徹底や校内危険箇所の早期発見・対応を行う。</p>		
家庭・地域社会との連携	<p>向陽高校の教育活動の魅力が、わかりやすく保護者や地域、また中学生に伝わるようにする。</p>	<p>HPで行事や学校生活等について伝えるとともに、ツイッターを利用して生き生きとした日常の活動も発信する。学校紹介についても動画を作成するなど、中学生によりわかりやすく本校についての情報が伝わるように工夫する。再生回数1000回以上を目指す。</p>		

学校関係者評価委員会による評価

次年度に向けた改善の方向性
